

# 市長室：対話の記録

## 要旨

## 開催内容の公開

### 対話の内容

市長のあいさつ(はじまり)

内容

市長のあいさつ(終わり)

第 20 回目となる今回は、市内の江丹別、嵐山地区にお住まいの方をはじめとする市民の皆さんと懇談しました。

25 人の方が参加し、地域特有の課題や、市政やまちづくりに対する意見など、活発な意見交換が行なわれました。



日時	平成 19 年 12 月 8 日(土) 午前 10 時 30 分～12 時
場所	旭川市江丹別公民館 多目的ホール(旭川市江丹別町中央)
出席者	・西川市長 ・市民(25 人)

## 対話の内容

※参加者はアルファベット(A～L)で表しています。

同じアルファベットの表記は同一人であることを示しています。

### 市長あいさつ

おはようございます。本日はこちらの交流センターにお集まりをいただきましてありがとうございます。私も市長に就任させていただいて1年が経過いたしました。こちらの地域のみなさんとはもっと早い時期からこのような会をもたせていただければなという思いでしたが、このように遅くなってしまい申し訳ございませんが、今日このように地域のみなさま方とお会して、いろいろとお話をさせていただく機会を持つことができましたことを本当にうれしく思っております。12時までの1時間30分程度ではございますが、ぜひみなさま方からいろいろなお話しをお聞かせいただきたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

嵐山、江丹別の地域にはいろいろと施設がございます。パークゴルフも今人気があります。これから団塊の世代が退職すると、パークゴルフ人口も旭川市内に限らず全道的にこれからもっと増えていくのではないかなということで、市民のみなさま、そして地域のみなさんに愛されるようなパークゴルフ場になるようにこれからも取り組んでいきたいと思っております。また市営牧場ですとか、若者の郷、公園などございます。また最終処分場につきましては、長い間みなさまにもご理解をいただき、本当に地域のみなさまのお力添えでこれまでやってこれましたので改めて感謝を申し上げます。私も今年の春、市営牧場の隣の所に3本ほど桜を植えさせていただきました。育

っている桜もたくさんあるのですが、木が小さい時に、冬の間だと思いますが、ネズミが皮をかじって木が死んでしまうという話をお聞きして、何かいい方法がないのかなということいろいろと工夫はしてきているのですが、そんな話をお聞きました。市営牧場の方も地域の畜産という部分で大変地域のみなさま方にお世話になっております。

江丹別、嵐山地区は農業という面でも今全国的に有名になっております。そばの部分では特に名産地となっておりますので、私どもも江丹別のそばをこれからもっともっと多くの方に知っていただけるようにPRをしていきたいなというような思いでありますので、またこちらのみなさまからお力添えいただければと思っております。



今日でちょうど20回目を迎えました対話集会になりますけれども、今まで各地域のみなさま方と話し合いをさせていただいた中で、すぐに実現できるというようなご要望もたくさんいただきまして、すでに市の施策として実行に移させていただいているものもございます。また、中期的、将来に渡って検討すべき事項として取り組んでいるものもございます。地域でいただいたお話しに関しては市でしっかりと管理させていただいております。随時進行状況を管理させていただいております。いいものにつきましては一日も早く実現させていただきたいという思いで、今日もぜひ地域のお話しなどもお聞かせいただければと思っております。

また、市政全般の状況について若干お話をさせていただきたいと思いますが、今ご存じのように第4回定例市議会の開会中です。今回は来年の春に予定しております機構改革につきまして議会に提案させていただいております。この機構改革の主たる目的は市民のみなさんに使いやすい機能的な市の組織形態にしていきたいというのが第一義的な目的でございます。また、その中で様々な部分で今の時代に合ったような組織に変えていくというような提案もさせていただいたりしております。一つは子ども支援部という子どもに関わる施策を専門的に担当するといえますか、今までは保健福祉部ですとか保健所、学校教育部などにまたがっておりました部署をここに集約させていただくということを考えています。学校に関する部分については従来通り教育委員会学校教育部に残していくということで、学校以外の部分を極力こちらの子ども支援部の方に集約させていただこうという提案をしております。

また、新しくできる部としては税務部という部を新しく創設させていただくとか、市の財政も非常に厳しい状況にありますことから、今、企画財政部内の行財政改革推進課を部に昇格させて行財政改革の部を設置させていただくということで、今朝の新聞にも財政再生団体ですとか財政健全化団体などと赤平市などの旧産炭地の名前もいくつか出ておりましたけれども、旭川市に置いても予断を許さない、この数年で一番厳しい時期ですので、何とか市民のみなさまと一緒にこの時期を乗り越えていきたいという思いでそういう部署を設置させていただきました。

また、私の公約の一つでもあるのですが、先日議会の冒頭で法令順守の条例を可決させていただきました。今、防衛省の官製談合のお話しが毎日のようにマスコミ、テレビに出ていますけれども、また上川支庁でも入札に関する談合の疑いということで捜査していたりと、そういうことを旭川市においては将来に渡って起こしたくないという思いと、また公正で公平な行政を市民のみなさんと一緒につくっていききたい、今後のまちづくりの一つの柱にさせていただきたいという思いで提案をさせていただきました。また、みなさま方にもいろいろとご理解をいただければと思っております。

今、旭川市が観光で大変賑わってきております。今までは札幌、小樽、旭川という順番だったんですが、先日の報道では平成19年度の上半期では小樽を抜いて北海道で2番目の観光客の入り込みというような状況になってきているということでございます。空港そして旭山動物園、また周辺に広がる素晴らしい農村地帯の自然環境を一つの観光資源にと、また周辺には温泉もありますし、本州の大都市圏の方々にグリーンツーリズムということで田舎での農業体験、自然体験をする修学旅行生の受入ですとか、こういったこと

もこれからぜひ取り組んでいきたいという思いです。

また、先日、一週間ほど前ですが、台湾に商工会議所、物産協会、空港ビルのみなさんと行ってまいりました。今回台湾に行ってきたのは実は台湾と旭川空港の直行便、これを何とか飛ばしていただきたいということで、台湾の航空会社、向こうの政府関係者にお会いしてまいりました。非常に前向きなご返答をいただきましたが、何とか実現できますように私どもも今度地元において国交省との打合せを重ねて実現していきたいと思っております。このように観光もこれからの一つの大きな柱になっていくのではないかなと思います。また、今、食品加工研究所の整備ということで検討委員会をスタートさせていただきました。江丹別の地域にもそばを始めいろいろな名産・特産がございます。こういった物に旭川ブランドとしての付加価値を付けて、そして大規模なマーケットの流通経路に乗せて出荷することができるような仕組みづくりを、ぜひみなさんと一緒につくっていききたいということで協議をさせていただいております。なるべく早い時期に一つの形にしていけるようにこれから頑張っていこうと思っております。

また、今年のごみの有料化ということで地域のみなさま方にもいろいろとご迷惑をお掛けしながらでございますが、お力添えをいただいておりますことに感謝を申し上げたいと思っております。リサイクルですとか、またごみの減量ということが、これは旭川だけでなく、全国的に大変重要視されてきておりますので、私ども旭川もきれいなまちを次の世代に引き継いでいきたいという思いでこの環境整備についても今度とも最重要課題の一つとして取り組んでまいりたいと考えております。

他にもいろいろと市で取り組まさせていただいている懸案事項が多々ございますけれども、せっかくの機会でございますので、その一部ではありますがこの機会をお借りして冒頭お話をさせていただきました。

この後、みなさまからも様々なご意見をいただければと思いますのでよろしくご意見申し上げます。今日は本当に雪の多い中お集まりをいただきましてどうもありがとうございます。よろしくご意見いたします。

#### **参加者A(江丹別地区市民委員会会長)**

ただいま市長の方から市政について、また行財政等々のお話をいただきました。やはり予算がなければいくら市長が若くて努力してもなかなかこれは伴わないというふうにも私も考えております。大きなパイプを国が持っています。そのパイプが閉塞するということになりますと、各都道府県まで流れ込んでこないんです。そんな影響が旭川市の財政難につながっているのではなからうかと私は思うわけでございます。そのような中で西川市長はまだまだ若く、バイタリティもありまして、いろいろとこれから36万市の市長として頑張っていたきたいと、そして挫折をしないように頑張っていたきたい。市民の一人一人が大きな期待をしており、これからも頑張っていたきたいと思っておりますので、今日おいでのみなさま方にも市長に期待とお願いの意をこめた大きな拍手をお願いしたいと思います。

江丹別地区のいろいろなお願いになるのですが、へき地の学校の統廃合、適正配置の問題です。市民委員会といたしましても、総会等でも全会一致で学校の存続をお願いするという決意をいただいております。そのような中、今日も市教委の方もおいでになっておりますが、これまでもPTAの三役と保護者のみなさま方も何回かの話合いの場を持っており、私たちとしては、3年でも5年でも現状のまま、このまま存続の方向で行けるのではないのかと考えているところです。一部新聞では統廃合に向けての協議が進んでいるように報道されておりますが、うちの場合はそんなことはないんです。西川市長さんもその辺は十分にお考えられているのではなからうかと思っております。

先ほど市長からも処分場のお話がありましたが、地域の人もそれなりに耐えるものは耐えているし、またお願いをするときはお願いをしなければならぬと、そんなふうにも思うところがございますので、これからのいろいろと地域のまちづくり、行政につきましても、また地域振興につきましても特段なるご理解とご協力をいただきたいと思いますと考えておりますのでよろしくご意見いたします。

### 参加者B(嵐山地区市民委員会会長)

私どもの地域は過疎化、高齢化が進んでおります。明治以降、先人が額に汗して築き上げてきた地域を何とか守りたいと、住民の気持ちがひとつになって、地域の活性化を目指して頑張っております。行政には地域の実情をぜひ理解していただきたいですから今日の会合は非常に喜んでいただいております。何としても行政の力が欠かせないわけでありまして。昨年からはパークランド嵐山が完成しまして、今年度は昨年度以上の人を集めることができ、本当に喜んでおります。また菜園付住宅がなかなか進んでおりませんが、これについては市と地元が協力してこの販売を促進していきたいと思っております。

要望になりますが、中園の道道はごみの処分場関係の車両の往来が激しく、交通量が多く、道幅も狭いので道路の整備を道に陳情していただきたい。

また、嵐山地域は旭川市街地に隣接する位置にありながら、優れた自然環境を維持しています。そういう中に市として自然を活用した施設整備について検討してほしいと思っております。ウィンタースポーツや宿泊施設、豊富な森林資源を活用した産業を興していただきたいと考えております。

### 市長

江丹別、嵐山両地区市民委員会会長から地域の現状や様々なお話をいただきましてどうもありがとうございます。今お話いただいた部分について私どもも市として十分認識をもっております。引き続き努力をして頑張っていきたいと思っておりますので、またいろいろな場面でお話しをさせていただく機会があるのかなと思っております。

また、特に優良田園住宅に関しましては造成後、まだ1軒しか建っていないということで、こちらにつきましては最重要課題として、私どもも1日も早くここに何らかの形で家を建てそこに定住してもらえるように頑張っていきたいと思っておりますのでまたお力添えいただきたいと思っております。

### 参加者C

今、芳野にあります市の処分場から1号道路という市道を整備していますが、この道路が本当に必要かどうか疑問に思っています。将来的にどのような利用のことを考えて今整備しているのか教えていただきたいと思っております。

### 環境部次長

芳野1号線というのは処分場の入口から牧場の方へ抜けていく道路で、今土木部で整備しております。過去に市民委員会の方からも要望がありましたが、今そこに道道があり鷹栖の方に抜けていくようになっておりますが、道路幅が狭いということで土現の方に整備をしてほしいという要望をいたしまして、土現の方もホンダのテストコースの方から整備を始めてきているという状況です。今、ごみの車両は少し減っているのですが、以前は嵐山、中園を通過する車両がかなり多いので分散してほしいという要望があり、芳野1号線ができれば道道が整備され鷹栖を通ってぐるっと回れるということで、鷹栖町とも相談しまして、車両の騒音などみなさんにご迷惑を掛けることがないように車両の通行を分散しようということで、今土木部で整備をしているところです。経過としてはそれぐらいしか分かりませんが、そういったことで整備をして、今牧場から抜けて来ている道道、鷹栖のホンダのテストコース側から整備が始まるという話を聞いております。

### 参加者C

わかりました。私は鷹栖の方から処分場に車が入ってくるのは少し難しいのではないかと思います。この道路の整備については考え直した方がいいのではないかと思います。

また、道道ですが中央から芳野まで歩道が延びていっています。ちょうど処分場の入口の100メートルぐらい手前で終わっているのですが、そこから先が全然延びる気配がありません。私は中園に住んでいるのですが、芳野の処分場と中園の旧処分場の間の大型トラックの通行量がすごく多いです。それで道の方にも要望しているのですが、市の

方からも道道の関係の方へ強力に歩道をつけていただくようお願いしてほしいと思います。

#### 市長

ただいまの歩道の部分について私どもも道の方へぜひ話をさせていただきたいと思えます。

#### 参加者D

私たちの住んでいる江丹別地区は明治25、6年ぐらいに拓かれましたが、今、人口はどんどん減ってきており、地域の住民みな非常に心配しています。存亡の危機にあるのではないかとさえ思っています。ここは積雪寒冷地ですから、畜産をしたり、また、そばをつくり、14、5年前にはそばの製粉工場を造ったりしながら独自の創意工夫もしてきており、これから先も農業を続けていきたい、また後継者も育てていきたいと思っています。

江丹別の名産品といえば、やはり農畜産物、酪農、肉牛、また現在は主にそばです。農産物の加工については、市長も力を入れているようですが、ぜひもう一歩進んで、本格的な乳製品ですとか、ハム・ソーセージ、あるいはそばの粉を使ったお菓子ですとか、そういった加工をしてほしいと思います。乳製品やそばの粉がここ江丹別にはあるわけですから、それらを利用した2次加工を基にして、人口の定着や所得の確保を図っていただきたいというふうに思っています。私たちは年寄りですが、孫にもぜひ農業をやらせたいと思っていますのでよろしくをお願いします。

それと江丹別地域には福祉施設がありません。福祉施設がないというのはここだけではないでしょうか。ごみの関係でもう十分義務を果たしていると思います。ぜひとも福祉施設をつくって、江丹別の振興を図っていただきたいと思っております。

今、石油などの燃料が非常に値上がりしています。そこでぜひとも江丹別にエタノール工場を誘致してもらいたいと思います。水田から転作して、とうもろこしや菜種などを栽培して、とうもろこしは畜産の飼料も兼ねることができますし、堆肥も十分施して輪作体系も組めます。また菜種からは油を取り、その絞りがすも十分飼料としてまた再利用できます。これらの作物からエタノールを抽出するエタノール工場の誘致をぜひともしてもらいたいと思います。

#### 市長

いろいろなご提案をいただきありがとうございます。

地域のそば、乳製品の加工について私どもも食品加工、そして付加価値工場といういろいろな検討をさせていただいていますが、その中の一つとしてぜひ検討材料にさせていただきたいと思えます。

また、福祉施設は江丹別地域にはありませんね。今後、新しく施設をつくりたいという事業者が出てきた時に、江丹別にはないということ踏まえて、全市的に均衡のあるまちづくりという観点からぜひ一つの案として入れさせていただきたいと思えます。

水田からの転作に関して減反率が旭川もだいたい50%ぐらい来ているかと思いますが、さらに今後厳しい国からの制限がかかってくるのかなという感じになっており、転作をどうしていくのかということは本当に真剣に考えなければならない時期に来ていると思います。市も国や道のいろいろな補助金を活用させていただいたりしておりますが、今後市の独自裁量部分も何とか増やしていき、転作事業者の方に対して助成する方法を幅広くしていきたいという思いはもっております。作ったものが高く売れて農家の方がそれで生活をしていけるには何が一番いいのかということも含めて、とうきび、また菜種という品目のお話もいただきましたが、農政部、市内農協と連携を組ませていただいて、今後の事業として取り組んでいきたいと思えます。

企業誘致についても一つの大きな柱であるという思いで取り組んでいきたいと思っております。先ほど機構改革の話させていただきましたが、来年の春、企業誘致専門の課

長を設置する予定でおりまして、東京の方に住んでいる方なのですが、企業誘致専門員として雇う予定でいます。東京に限らず首都圏と旭川市とで情報をしっかりと密にしていこうと考えております。その中でエタノール関係の会社の方にもぜひお願いしていきたいと思っております。

### 企画財政部長

エタノール工場の件ですが、今、エタノールはガソリンなどいわゆる原油に替わるエネルギーとして注目を浴びております。確かエタノールを本格的に生産しているのは宮古島だったと思います。サトウキビを遺伝子操作し、通常の5倍ぐらいのサトウキビを作ってエタノールを生産しています。しかし、そういうふうには島全体でサトウキビを作り、エタノールを抽出して採算が取れるかという取れない実験段階なんですね。ブラジルのような広大な土地にものごく単価の安い値段で莫大な量を生産すると採算が取れるようです。ですから、今後エタノールを取るのに、先ほど言われましたように、とうもろこし、菜種ですとか、あるいは野菜ですとかいろいろなものを培養しながらというのは可能性はあると思いますが、市としては実験的にいろいろと試行錯誤することよいのですが、多額の費用をかけて実験を行うということにはならないと思っております。

地域振興策として、そばですとか、乳酸品もそうですし、養豚場も多いとすれば、単に肉を出荷するよりは生ハムにしたり、江丹別のハムという江丹別という名前を付けることで値段が上がるというブランド化という方法もあると思っております。私は東京で上野のお蕎麦屋さんに行った時に、この店では江丹別のそばを使っていますと写真入りの額を見たことがあるのですが、東京では江丹別のそばはブランドになっているんですね。そういう形で努力をして、農産物を加工して、例えばそば粉のままではキロ何千円ですが、製粉して製品化すると3倍、4倍の値段で出荷できるという形になっています。そういうことは先ほど言ったバイオエタノールとは違いますが、一定程度の手法を用いながら、我々は旭川の産品として育てていきたいということで、市長が食品加工研究所の話先ほどされましたが、そういうことを視点にやっておりますので、その分につきましては確かにこの江丹別というのは有望な地域であると思っておりますので、今後ともそれについては追求していきたいと思っております。

### 参加者E

企業誘致や住宅問題などいろいろなことに関連して、嵐山地区の市街化調整区域という法律の網があるのですが、その見直しの検討をお願いしたいと思います。嵐山地区も江丹別の一部ですので、適切な場所があったとしても市街化調整区域ということがネックになって、企業の方に使っていただくことができないという、そういうハンディがあるのではないかと思いますので、市街化調整区域の見直しについて検討していただきたいと思っております。

### 市長

市街化調整区域を市街化区域に編入していくということについては、いろいろな地域の方からご要望として毎年いただいております。その中で一つ一つ都市計画の中で考えていかなければなりません。これから日本の人口が減っていき、多分70年度ぐらいにはもしかしたら今の半分ぐらいの人口となるペースで少子化が進んでいるのかなといった状況なのですが、そうすると日本の人口が6千万人ぐらいになり、単純に考えると北海道も2百万人台、旭川市も十何万人ということを考えると、なかなか都市を拡大していくというのが厳しい状況にあります。そのような中で特区という形で、例えば優良田園住宅ですとか、また特区でこの地域だけは何かとしてでもということ、箇所箇所によってはやってきてはおります。その辺も一つご理解いただければと思いますが、ご要望として地域からそういうお話もあるということも踏まえて、今後の都市計画の中で検討させていただきたいと思っております。

### 参加者F

江丹別地域は現在典型的な過疎地域になり、この地域は社会的生活をしてくだけの人口があるかないか、非常に心配で、そのうち消えてしまうのではないかと思うぐらい、私は心配しています。少子高齢社会で、働き手がどんどん少なくなって、周辺住民も高齢者が非常に多いです。江丹別地域は旭川市の面積の25%、4分の1を持っています。主に山林ですが、この地域を何とか社会的な生活ができるような、経済的な潤いを持つような、そういう地域にするようなことを考えられないかなと思います。この地域は明治以来1世紀有余、農業関係一筋でやってきた地域です。ですから自然環境の恵みの中で農林業経済を発展させていく方法を何とか見つけていただきたいと思います。地域住民と学識経験者などを中心として話し合いながら、この地域を経済的に潤いのあるまちにしていっていただきたいと思います。

先ほど桜の話をしておりましたが、私たち同人会の方で管理しております。3千本ほど植え、6百本程度が育っておりますが、最初に植えたものは18年間経っていますので、まさにもう花見ができる十分な太さに育っております。それともう一つオンコ並木道とこの桜の木をメインにして、年1回ぐらいイベントを開催して地域の観光振興を図ろうと考えております。このように私たちも地域の振興策を考えておりますので、ぜひ行政の方からも地域の経済振興を図るためお力添えを頂戴したいと思います。

### 市長

長い歴史がある江丹別・嵐山地域にお住まいになっている方は本当にこの地域に対する愛着もありますし、やはり発展して行ってほしいという気持ちを持っていらっしゃると思います。私どももその思いをしっかりと受け止めさせていただきたいと思っております。桜、オンコというのも一つの名所になると思いますので、地域のみなさんにもいろいろ計画していただいて、市の方もぜひ応援させていただきたいと思っておりますので、またいろいろな面でお話し合いさせてください。

### 参加者G

江丹別は畜産と農産物と言えればそばしかございません。ここ数年やっとブランド品として東京で羽ばたいております。市もこのそばにかけてもう少し頑張ってもらいたいと思います。また旭川空港にもそばを置いていただきたいと思います。旭川空港内には江丹別の粉を使用した「吉祥庵」という蕎麦屋がありますが、乾物はありません。本当に江丹別を思ってくれるのであれば、旭川空港内にぜひ江丹別そばの乾麺を置いてほしいと思います。

### 市長

旭川空港の売店は私もいつも残念に思っています。帯広や札幌のお菓子が一番前に並んでおり、旭川のものがあまり目立たないような感じで置かれており、非常にいつも残念に思っておりますので、私も今度業者さんにPR、お願いに行ってみようと思います。

旭川空港に関してですが、非常に手狭になってきております。4月からスカイマーク航空さんが1日3便か4便、毎日運航してくることになっています。航空運賃が時期にもよるのですが、今の正規料金よりも片道1万円ぐらい安くなると思います。千歳空港経由だった方も直接旭川に来るようになると思いますので、乗降客数は必ず伸びるだろうと予測しています。また中国、台湾などの国際定期便がこれから実現できれば、ターミナルが手狭になってきますので、近いうちにこのターミナルを増設しなければならないということも考えなければならないと思っております。その時には私の頭の中だけの考えなのですが、もしターミナルを増設して新しい店舗が入る時には、例えば地元の物をおく業者さんでなければだめですとか、地元の物を優先的に販売してもらおうというようなことにぜひ力を入れていきたいと思っております。それは少し先になるかもしれませんが、当面今あるところには、私もいろいろな形でお願ひしていきたいと思っております。

### 参加者H

最近、「限界集落」という言葉を聞くようになりました。江丹別も限界集落が目前に迫ってきていると思います。江丹別は旭川市に合併され、役場もなくなり、役場が亡くなった分人口も減ってしまいました。近年は農協が合併しまして、いろいろと良いことばかり言って合併しましたけれども、合併してみたら、あっちの事業所もなくす、この事業もなくす、今は権限も何もない営農センターしかありません。さらにその営農センターも統合するという話です。合併とか統合とかいろいろといい話のようではありますが、実際には限界集落に一步一步近づいていく仕掛けでしかないんだと思ってしまいます。私はもうすぐ78歳です。男の平均年齢が78歳と言いますから、私はちょうど賞味期限が切れるところで、賞味期限は切れるけれども、まだ消費期限はいくらか残っているから、そのところで力を振り絞ってこの地域を何とかしたいと思っております。

昔、江丹別地域では和牛を飼って繁殖をしておりました。そこで私は和牛の繁殖をやりたいと思い、若い人にも勧めてきたのですが、畜産というのは酪農にしても、肉牛にしても多額の資金が必要です。仮に資金を持っていたとしても畜産とか農業をやろうという人はいません。しかし何とかしてやらなければ、この地域がだめになると思います。いろいろなものがありますが、この地域で一番手っ取り早く大きな収入を上げるのは畜産ではないかと思ひ、今年から一つのグループに和牛の繁殖を始めてもらいましたが、問題は資金です。農協に相談してもああでもないこうでもない、しまいには担保がないだろうと言われてます。担保が十分あればお金を貸してもらえ、担保がないからお金を貸せないというのも分かっていますが、そうしたらお金がなく農業をやりたい、牛を飼いたいという者はどうしようもないわけですよ。そこで市に何とかお願いしたいなと思っています。今、もう事業を始めてしまっていますので、先にも進めない、後にも引けないではどうしようもないわけです。これまでは市から無利子で経営資金をお借りしてやり繰りしてきたわけですが、これも来年にはなくなるというような話であります。私も市の財政が厳しいことは百も承知しておりますので、今までのように無利子でお借りしたいということではありません。担保のない彼らにもお金を貸していただく方法を何とか考えていただきたいと思ひます。以前は江丹別地区では10億から10何億ぐらいの農畜産の収入がありました、今では3億程度で、その程度では農協で相手にしてもらえませぬ。もう農協で面倒をみてもらうことはできないと思ひております。

### 市長

江丹別地区は畜産とそばということで、そばについては非常にブランド化が進んできております。畜産農家は初期投資の部分でかなりお金がかかるということですね。市として貸付金の制度は持っておりますが、今後、もっと利用しやすい制度について検討させていただきたいと思ひます。

### 参加者I

嵐山地区の市道は整備によりほこりの被る道路はほとんどありません。ただ1か所、嵐山公園線がお願いはしていますが未だに舗装がされておられません。嵐山公園ですが、ここは石狩川と美瑛川が交差して、旭川で一番眺めの良い場所ではないかと思ひます。そこで観光都市旭川ということで、そこに大型バスが入れるような道路をぜひ整備していただきたいと思ひます。たくさんの人にもっともって見てもらえるようにするべきではないかと思ひます。旭川市の観光の目玉になるのではないのでしょうか。嵐山側から上がるころにおばあちゃんが住んで居るのですが、車が通るとものすごいほこりを被るということですので、早急に防塵処理などをしてほしいと思ひます。嵐山公園は本当に素晴らしいと思ひます。ぜひ市民や日本中の人に見てもらえるようにしてほしいと思ひます。

### 市長

嵐山公園は永山武四郎さんが上から見て、当時北海道開発庁長官だったころだったでしょうか、ここに北海道の道都を置こうとしたんですね。本当に素晴らしいところだというのは、地元の人には分かっているのですが、観光地という部分ではまだまだ知られていない



のかなと思います。嵐山公園の素晴らしさをPRしてほしいということは他の方からも言われておりますので、今後の観光の目玉にということで、道路の整備なども含めて嵐山公園全体について検討してみたいと思います。ちょっと雪が融けたら私も山登ってみていろいろと観察させていただきたいと思います。

#### 参加者J

処分場についてお聞きしたいと思います。中園が終わって芳野の処分場にごみが捨てられるようになって、もう4年ぐらいになるでしょうか。地元との協定の中で15年間という協定が組まれておりますが、4年が過ぎて市として次期処分場の予定地など、これからの計画を立てる時期にもう来ているのではないかと思います。市長も当然処分場の経緯についてはお聞きになっていると思います。地域で住民投票までして決定するまでに非常に苦労をした経過があります。現処分場がまたその後拡張されるのではないかと地元の心配もあります。現処分場が決まった時に地元の住民からは今回はもうやむなし目をつぶるが、次の処分場については江丹別以外にするという約束をしてくれという提案があったと思います。その後、その返事もなく、当然出来たばかりですから、まだないと思いますが、もうそろそろ次期処分場の計画段階に入っているのではないかと思います。次の候補地を市で考えているのであればこの場で教えていただきたいと思います。

#### 市長

次期処分場の予定地ですが、平成30年までという地元のみなさんとのお約束で、その部分は私もしっかりと引継ぎを受けております。地元のみなさんとの協議の内容とお約束についてはしっかりと守っていきたいという思いでおります。次期処分場についてはまだ現段階では手を付けていない状況であります。

#### 環境部次長

次期処分場のお話ありがとうございました。今まで私も処分場建設に携わっていて、だいたいの経過は分かっております。それで有料化が今年から始まったということで燃やせるごみ、燃やせないごみの比率がかなり下がってきています。そして事業系ごみの搬入規制を行い、事業系ごみの9割方は清掃工場の方へ運ばれています。このようなごみの動向をきちんと把握していかなければなりません。ここ1、2年でごみはどうなっていくのか、埋立量はどうなっていくのか、また処分場と近文清掃工場、中間処理施設のリプラなどいろいろありますが、これらがどうなっていくのか、人口推移も見定めていかなければならない。ちょうどごみ行政にとっては大きな変化点であり、そこら辺を見定めなければならないということで、現在計画は持ち得ていないという状況です。先ほどご指摘がありましたけれども、前回もいろいろな中でこの地区の処分場については全市の視野の中できちんとした情報公開をしながら建設したいと表明しておりますので、そういうような方法で決めていくことになろうかなと思います。いずれにしても、情報公開や説明責任を果たした中で進めていきたいと考えておりますのでご理解いただきたいと思います。

#### 市長

今後の部分、次期の部分ではみなさま方にもきちんと情報をお伝えします。

#### 参加者K

子どもが段々と少なくなり、学校を維持するのは大変だと思いますが、何とか学校を残してほしいと思っています。

先ほど市長が肉製品、乳製品の加工に力を入れると言われましたが、それは具体的にどういうことを考えているのか教えてほしいと思います。

それと旭川に観光客が随分増えて、小樽を抜いたという話もありましたが、観光客が集まっているのは動物園だと思います。観光客が旭川全体を巡ってもらえるような工夫があればいいと思いますし、ついでに江丹別に寄ってもらえればいいなと思います。

## 市長

学校の件に関する地域のご要望については、私もお話しを聞いております。今後、教育委員会を通じて、いろいろ話し合いをさせていただかなければいけないなと思っております。地域のみなさんの思いは私も現時点におきまして受け止めております。

また、肉、乳製品について具体的にどう加工するかということについては、私は専門ではないものですから、どういうものかということは今検討している最中でありますので、具体的にこういうものをというところまでは、現時点ではいっておりません。もしアイデアがあれば教えていただければと思います。食品加工研究所の整備からのお話しをさせていただきたいと思いますが、その他、農政部の制度はいろいろとありますが、それは抜きにして今考えているのは、例えば旭川ブランドというものを一目見たらわかるようなものを作りたいということで、年明けからですが青果連に入って出ていく旭川の野菜の包装に旭山動物園の動物の顔の付いたマークを付けて売り出すという話を進めています。ぱっと見たらこれは旭川の野菜だとすぐ分かるというものです。それを将来的に野菜だけではなくお米ですとか肉製品、旭川近郊のものを含めてもいいかもしれませんが、これを見たら旭川のものだと分かるようにすることが大切だと思っております。マークを付けるのは何でもいいというわけではなくて、いろいろな食品の分析機能があります。例えば栄養素がこういうものがありますとか、甘さがこれぐらいありますとか、そういう厳しい基準を作ってそれをクリアしたものにはマークは付けないとかいうものが一つあって、それを安心・安全・おいしいという地域ブランドとして、首都圏や海外も含めて何とか売り出していけないかなと思っております。それは一次産品ですが、そこから加工した二次産品、市内にも加工の業者がたくさんあります。例えばラーメンでいうと藤原製麺さん、加藤ラーメンさんなどいろいろありますし、またいろいろな食品会社もあって、地元の食材を使っているところもあれば、そうではない食材を使っている業者もありますが、このような二次産品も旭川ブランドとしていきたいという構想を持っております。その中に肉製品もぜひ一つの戦略商品として、加工も含めて、技術とか商品というものはある面専門家のアイデアと知識が必要なものですから、そういう専門家をそこに貼り付けなければならぬと思っております。計画が決まった時点では人を探さなければいけないと思っております。また、旭川で和牛の畜産する方が増えていただけないかなという思いを個人的には持っております。宗谷牛がすごく有名になっております。昨年、稚内に行った時に宗谷牛のステーキを食べる機会があり、すごくおいしかったんですね。地元の人にはなかなか手に入らなくて、全部東京の方に流れていってしまうらしいです。江丹別は畜産農家の方もいらっしゃるの、そういった部分でもお手伝いしていきたいという思いを持っております。

周遊型の観光というお話もございましたが、平成18年度では動物園の入園者数が約300万人です。観光客が旭川市に今約700万人来ていますで、4割は動物園に来ているんですね。以前は旭川に来る観光客の方は400万人ぐらいだったのですが、今は300万人増えていますので、この増えたのは単純ではないかもしれませんが、動物園の入園者数が当時20万人だったのが300万人になった分が増えたということかもしれません。この方々が動物園以外にも行っているかという、そうでもないかもしれません。そういう面で、こちらの地域では若者の郷に泊まる施設もありますし、また季節によっては牛も放牧していますので、向こうの人たちが来たら、きっと喜ぶだろうと思います。そういうPRもまだまだ不足しているかもしれませんので、周遊ルートという部分で旅行会社にももっともっとPRしていかねばいけないなと思っております。ついても観光課としっかり検討させていただきたいと思いますが、地域のみなさんの思いということも私もいろいろ分けて伝えていきたいと思っております。

## 参加者L

処分場についてですが、芳野の処分場建設の時には地域を二分して、地域の人たちの心がずたずたになり、中には今もそういう気持ちを引きずっている方もたくさん居られます。これは何が悪いのかというと、処分場がここになってしまったことは仕方がないとは思

いますが、市の対応が非常に悪かったと私は思っております。今の社会状況では処分場をつくらざるを得ないとは思っておりますが、次回の建設時には出来るだけ環境負荷の少ないものをつくっていただきたいなと思ひますし、必ず情報公開するようお願いいたします。それなしでは認められないと思ひます。

処分場のカラスが激減したという記事が先般新聞に載っていました。これはやはり地元の方々の強い反対などいろいろあって、やっとここまで来たと思ひますが、ここにきてまた増えています。異常に多いのではないかと思ひるほどです。やはり生ごみなどを入らないようにして、冬を越さないような工夫をしていただきたいと思ひます。夏に野菜を作っている農家の方は、そのために市の方でネットを張っていただくようなことがあるようですが、そういうことに頼らないでやっていけるようお願いしたいと思ひます。

旭山動物園の動物たちの敷きわらが埋立処分場に埋め立てられているという話を聞いております。敷きわらで寝わらなので、糞尿などは水洗トイレに流すそうで、それほど汚くはないと言われてますが、やはり敷きわらを埋め立てるのはもったいないと思ひますし、ぜひ動物園の中で堆肥化して、動物園の中にきれいな花を育て、花壇をつくったり、もしできるのであれば、動物のえさをつくる努力をしていただけないかなと思ひます。そういうことができたなら動物園のPRにもなると思ひますので、ぜひお願いしたいと思ひます。

### 市長

カラスの件については、事業系ごみは基本的には搬入禁止となっていたのですが、有料化の時に少し入り込んでしまった時期があったようです。今後ともカラスが食べるようなごみを入れないということで、徹底していきたいと思ひます。またいろいろと気付かれたことがありましたら、教えていただければ思ひます。また、処分場についての情報公開の件については、私どももしっかりやっていきたいと思ひます。

動物園の敷きわらに関連して、今年、落ち葉を回収しリサイクルして堆肥、腐葉土にするという取組をスタートさせていただいたのですが、準備不足だったせいもあり、一部回収できない落ち葉などがあって、市民のみなさんからいろいろな意見をいただいております。来年度以降、もう少し工夫して、もっとみなさんに使ってもらえるような制度としていきたいと思ひます。敷きわらについても堆肥にできるのですね。これもいろいろ検討させていただきたいと思ひます。

### 環境部次長

確かに現在、動物園の敷きわらは処分場で受けております。現在、今ご指摘のありましたように、堆肥化するなり、最悪の場合でも燃やすなど今いろいろ検討をしております。堆肥化が一番良いのでそれを含めて検討していきたいと思ひます。

### 市長終わりのあいさつ

まだ発言されたい方もいらっしゃるかもしれませんが、時間が限られており、全員の方に発言していただけない、本当に申し訳ございません。本日はいろいろなご意見をいただきまして、私どもも大変参考になりました。今後とも江丹別、嵐山地区のみなさま方と一緒に旭川のまちづくりを行っていききたいという思いで頑張っていきたいと思ひますので、今後とも様々な部分からお力添えやご指導をよろしくお願いいたします。今年はインフルエンザが大変流行しているということで、先日、お医者さんにお聞きすると、旭川は全国一流行っているということです。なぜ旭川がこんなに流行しているのかというと、実は観光客がたくさん来て、ウィルスを運んでくるというので、今後観光客がどんどん増えてくると、今まで旭川になかったような病気ですとかそういうことも心配しなければいけないんですよとお医者さんからお聞きしたので、今回のインフルエンザの件もわかりませんが、もしかしたらそんな影響もあるのかなというふうに思ひました。このようにインフルエンザが流行していますので、風邪も含めてですが、みなさんも気を付けてください。また、今年は雪が多いので除雪も大変だと思ひますが、市も除雪についてもしっかりと頑張っていきたいと思ひ

ますので、今後ともよろしく願います。  
今日はどうもありがとうございました。

---